

中濃地域循環型社会推進地域計画に係る改善計画書

中濃地域循環型社会推進地域計画の達成状況について評価を行ったところ、目標達成することができなかった項目があり、その要因を分析するとともに、今後の目標達成に向けて下記とおり改善計画を策定しました。

記

未達成項目

- ・ ごみ処理
 - 家庭系 1人当たりの排出量 目標 170.9 kg/人に対し実績 179.4 kg/人
 - 中間処理による減量化量 目標 26,053t (67.9%) に対して実績 28,664t (76.1%)
- ・ 再生利用量
 - 直接資源量 目標 3,023t (7.9%) に対して実績 2,241t (6.0%)
 - 総資源化量 目標 11,878t (31.0%) に対して実績 9,857t (26.2%)
- ・ 生活排水処理
 - 公共下水道 目標 95,390 人に対し実績 86,574 人
 - 集落排水施設等 目標 16,140 人に対し実績 12,584 人

未達成要因の分析

- ・ ごみ処理
 - 1人当たりの排出量が未達成だった要因は、リサイクル意識の低下が大きな要因と考えられる。中間処理による減量化量が増加したことも、資源化量の大幅な減少が起因していると考えられる。
- ・ 生活排水処理
 - 公共下水道・集落排水施設等いずれも未達成であった要因は、人口の減少、経済情勢の悪化等の影響で公共下水道等への切り替えが進まなかったことが考えられる。

今後の改善計画

- ・ ごみ処理
 - 広報、ホームページ等によりごみの分別、リサイクルについての啓発活動を強化し、併せて家庭ごみ有料化の検討を行い、市民の意識向上を図りごみ排出量削減に努め、資源化量の増加を目指し、中間処理による減量化量の削減を目指します。
- ・ 生活排水処理
 - 引き続き公共下水道事業の促進、公共下水道区域外地域では、合併浄化槽促進を進め広報等を通じ啓発活動に努める。